

# ご案内

## 平成 29 年度塑性加工春季講演会講演募集

開催日：平成 29 年 6 月 8 日（木）～ 10 日（土）  
 会場：じゅうろくプラザ [〒500-8856 岐阜市橋本町 1 丁目 10 番地 11]  
 岐阜大学サテライトキャンパス [〒500-8844 岐阜市吉野町 6 丁目 31 番地]  
 テーマセッション講演申込締切：平成 29 年 1 月 16 日（月）  
 一般講演申込締切：平成 29 年 1 月 23 日（月）  
 講演論文集原稿締切：平成 29 年 4 月 10 日（月）14 時まで  
 （注意：原稿提出遅れの場合は、下記の特別原稿編集作業費を請求します）  
 ※事前参加登録手続きは 4 月初めにホームページにて公開予定です。

共催：日本機械学会、日本塑性加工学会（幹事学会）  
 協賛：軽金属学会、高分子学会、精密工学会、日本金属学会、日本トライボロジー学会、日本材料学会、日本複合材料学会、日本レオロジー学会、日本伸銅協会、日本鉄鋼協会、プラスチック成形加工学会、溶接学会、型技術協会、日本合成樹脂技術協会、粉体粉末冶金協会、日本鍛圧工業会  
 後援：日刊工業新聞社

●講演申込方法：  
 整理作業の円滑化のため、学会のホームページを利用したオンライン申込をご利用ください。ホームページからの申込みが困難な方は、学会事務局まで電話でお問合せください。  
 ・講演申込には、会員 ID・パスワードが必要です。  
 ID・パスワード発行までにお時間がかかりますので、入会申込みは 1 月 12 日（火）までをお願いします。また、共催学協会会員には今回限り有効な ID とパスワードを発行します。

講演申込用ホームページアドレス  
<http://www.jstp.or.jp> 【講演申込みのページ】

注意) 申し込み後 24 時間以内に受付確認メールが送られてこない場合は、早急に学会事務局まで電話（03-3435-8301）でご連絡ください。申し込みが登録されていないおそれがあります。

●講演申込上の注意：  
 1. 講演者は講演申込時に共催学協会の個人会員に限ります。連名者の資格はその限りではなく、連名者数（除く講演者）は 6 名までとします。  
 2. 講演申込締切後の講演取消はできません。また、講演申込締切後の題目、講演者、連名者の変更はできません。  
 3. 講演論文集の原稿の著作権は日本塑性加工学会に譲渡していただきます。なお、著作者自身による原稿利用の権利は留保いたします。  
 4. 講演分類は右記の表より 1 つずつ選んだ組合せで表示します。  
 5. 未発表かつオリジナルな内容に限ります。

●原稿の提出：  
 講演論文集の原稿枚数は A4 用紙 2 枚です。原稿は PDF で提出していただきます。原稿の執筆方法はホームページをご参照下さい。

●講演申込整理費：1 講演につき、3,000 円

●特別原稿編集作業費：  
 講演論文集原稿締切後に提出された原稿は編集作業に支障を来すため、特別原稿編集作業費として 20,000 円を請求いたします。また、4 月 10 日（月）14 時までに原稿が入手できなかった講演は取消とさせていただきます、更に 20,000 円を請求いたします。  
 4 月 10 日（月）14 時以降 ～ 4 月 14 日（金）14 時まで 20,000 円  
 4 月 14 日（金）14 時以降 講演取消および 20,000 円

●参加登録：  
 講演会に参加する方（講演者、連名者、聴講者）は参加登録が必要です。早期割引参加登録手続きは 4 月初めにホームページにて公開予定です。

●支払方法：  
 講演申込整理費、参加登録料、特別原稿編集作業費は一括請求させていただきます。

●優秀論文講演奨励賞の申込：  
 35 歳以下の若手発表者による優秀な講演発表に対して、優秀論文講演奨励賞を贈ります。優秀論文講演奨励賞の対象となる 35 歳以下の会員で審査を希望される方は、講演申込時に優秀論文講演奨励賞の審査の希望を選択していただき、年齢も必ず選択してください。申請がない場合は、審査対象外とさせていただきます。なお、過去に本賞の受賞歴のある方は、受賞した講演会後 2 年間は欠格期間となることを申し添えます。

表 1 素材形態別分類 表 2 加工法別分類

素材形態別		加工法別	
板 材	A	圧延	a
		鍛造	b
		転造	c
		押出し	d
		引抜き	e
塊状物 (線・棒・型材等)	B	ロール成形	f
		チューブフォーミング	g
		スピニング	h
管 材	C	せん断	i
		曲げ	j
		板材成形	k
		矯正	l
不定形材 (粉末・溶湯・ 木材等)	D	高エネルギー速度	m
		接合	n
		複合加工	o
		粉末成形	p
		射出成形	q
		半溶融・半凝固・溶湯	r
		インクリメンタルフォーミング	s
		サーボ応用加工	t
		マイクロフォーミング	u
		超音波応用加工	v
		ドライ加工	w
		温・熱間プレス成形	x
表面改質	y		
その他	z		

表 3 要素技術別分類

材料試験	1	
塑性理論	2	
解析技術	基礎理論、解析モデル	3
	数値シミュレーション	4
	実験シミュレーション	5
材 料	在来実用金属	6
	新材料・機能性材料	7
	複合材料	8
	超塑性材料	9
	プラスチック	10
	粉末材料	11
	セラミック	12
	木材・その他	13
加工特性	変形特性・負荷特性	14
	加工限界	15
	加工精度	16
	材質改善	17
	その他	18
	その他	18
工具、金型	工具、金型設計	19
	CAD/CAM	20
	工具材料	21
	その他	22
	その他	22
加工・生産システム	計測、制御	23
	加工機械、システム	24
	生産システム (FMS)	25
	知能化技術 (AI, エキスパート)	26
	その他	27
トライボロジー	摩擦・焼付き	28
	摩 耗	29
	潤滑剤	30
	表面処理	31
	その他	32
	その他	32
環 境	環境負荷	33
	省エネルギー	34
	その他	35
その他	36	